

2026_0420「ツツジの街路」日々の理科 4271号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

サクラの名所として知られる小石川も、満開の時期はあっという間に過ぎていきます。花びらが風に舞い、路面に淡い色を残したその後、街の景色はすぐに次の主役へと移り変わります。やがて小石川の街路は、鮮やかなツツジの花で満たされるようになります。

ツツジとよく似た植物にサツキがありますが、見分けるポイントはいくつかあります。ツツジは主に4月から5月にかけて咲き、花が大きく、株全体を覆うように華やかに咲くのが特徴です。一方、サツキは5月から6月と少し遅れて開花し、花はやや小ぶりで数多く咲き、葉も小さく引き締まっています。開花の時期と花や葉の大きさに注目すると、両者の違いが見えてきます。

小石川の街路には、こうしたツツジやサツキが植え込みとして多く用いられています。歩道の脇に連なる低木が、季節ごとに色を変えながら街を彩っていきます。サクラ、ツツジ、そしてサツキへと移りゆく花のリレーは、私の自宅から職場までの道のりに、確かな季節の流れを感じさせてくれます。

(2026年4月中旬／文京区小石川)

